

## 反射テスト 整数 知識 06 商と余り

1. 次の間に答えよ。(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)

- (1) ある整数  $p$  をある自然数  $n$  で割ったとき, 商を  $q$ , 余りを  $r$  とする.  $p$  を  $n, q, r$  を用いて表せ.
- (2) ある整数を 6 で割ったとき, 考えられる余りを全て書け.

- (3) 次の数を 3 で割ったときの余りを表に書き入れたい. 空欄をうめよ.
- (4)  $-91$  を 5 で割ったときの余りを求めよ.

割られる数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
余り	0	1								

- (5) 3 で割ると 1 余る自然数を小さい順に 7 個書け.

2. 次の間に答えよ。(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)

(1) 41 をある自然数  $n$  で割ったとき, 商を  $q$ ,  
余りを 5 とする.  $n, q$  の関係式を作れ.  
また,  $n$  を求めよ.

(2) ある整数を, ある自然数  $n$  で割ったとき, 余りの  
最小値と最大値を  $n$  を用いて表せ.

(3) 次の数を 3 で割ったときの余りを表に書き入れたい.  
空欄をうめよ.

(4) ある整数  $n$  を用いて,  $5n - 1$  と表される整数を 5 で  
割ったときの余りを求めよ.

割られる数	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
余り								0	1

(5) 3 で割ると 1 余る自然数を整数  $n$  を用いて表せ.

# 反射テスト 整数 知識 06 商と余り 解答解説

1. 次の間に答えよ。(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)

(1) ある整数  $p$  をある自然数  $n$  で割ったとき, 商を  $q$ , 余りを  $r$  とする.  $p$  を  $n, q, r$  を用いて表せ.

$$p = nq + r \quad \dots \text{答え}$$

★除算 (*division*)

$p$  …割られる数 (被除数) (*dividend*)

$n$  …割る数 (除数・法) (*divisor*・*modulus*)

$q$  …商 (*quotient*)

$r$  …余り (剰余) (*remainder, residue*)

(2) ある整数を6で割ったとき, 考えられる余りを全て書け.

$$0, 1, 2, 3, 4, 5 \quad \dots \text{答え}$$

★余り (剰余) (*remainder, residue*)

自然数  $n$  で割ったときの余りは,

$0, 1, 2, 3, \dots, (n-1)$ .

つまり,  $0 \leq \text{余り} < \text{割る数}$

(3) 次の数を3で割ったときの余りを表に書き入れたい. 空欄をうめよ.

割られる数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
余り	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0

★法 (*modulus*) と余り (*remainder*)

上表のように余りは規則的に  $0, 1, 2$  を繰り返す.

(4)  $-91$  を5で割ったときの余りを求めよ.

$-91 \div 5 = -18 \dots -1 \Rightarrow$  余り  $-1$  これは誤り.

正解は,

$$-91 = 5 \times (-19) + 4$$

$$\text{余り } 4 \quad \dots \text{答え}$$

★余り (剰余) (*remainder, residue*)

$0 \leq \text{余り} < \text{割る数}$

(5) 3で割ると1余る自然数を小さい順に7個書け.

$$1, 4, 7, 10, 13, 16, 19 \quad \dots \text{答え}$$

☆差が3の等差数列になる.

★等差数列 (*arithmetic sequence*)

*sequence of numbers with common difference*

*arithmetic progression* など言い方もある.

隣り合う項の差が一定の数列である.

2. 次の間に答えよ。(S級1分, A級2分, B級3分, C級4分)

- (1) 41 をある自然数  $n$  で割ったとき, 商を  $q$ , 余りを 5 とする.  $n, q$  の関係式を作れ. また,  $n$  を求めよ.

$$41 = nq + 5 \Leftrightarrow nq = 36 \quad \dots\text{答え}$$

余りが 5 だから  $n$  は 5 より大きいので, 36 の約数のうち 5 で大きいものが  $n$  である.  
 $n = 6, 9, 12, 18, 36 \quad \dots\text{答え}$

- (2) ある整数を, ある自然数  $n$  で割ったとき, 余りの最小値と最大値を  $n$  を用いて表せ.

最小値は 0, 最大値は  $n - 1 \quad \dots\text{答え}$

★余り (剰余) (*remainder, residue*)

自然数  $n$  で割ったときの余りは,

$0, 1, 2, 3, \dots, (n - 1)$ .

つまり,  $0 \leq \text{余り} < \text{割る数}$

- (3) 次の数を 3 で割ったときの余りを表に書き入れたい. 空欄をうめよ.

割られる数	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
余り	2	0	1	2	0	1	2	0	1

- (4) ある整数  $n$  を用いて,  $5n - 1$  と表される整数を 5 で割ったときの余りを求めよ.

5 で割ったときの余りは 0, 1, 2, 3, 4 であるから,

$5n - 1 = 5 \times \bigcirc + \triangle$  ( $\triangle$  は 0, 1, 2, 3, 4) と表せばよい.

$$5n - 1 = 5n - 5 + 5 - 1 = 5(n - 1) + 4$$

$\Rightarrow$  余りは 4  $\dots\text{答え}$

★負の余り (負剰余) (*negative remainder*)

厳密に言えば余りは 0 以上の整数である.

しかし文字式の形から次のようなイメージも可能だ.

$n$  で割ったとき, 余りが  $-1 \Leftrightarrow$  余りは  $n - 1$

$n$  で割ったとき, 余りが  $-2 \Leftrightarrow$  余りは  $n - 2$

$n$  で割ったとき, 余りが  $-3 \Leftrightarrow$  余りは  $n - 3$

...

なぜか.  $n$  で割って余り  $-1$  は

$$n \text{ の倍数} - 1 = n \text{ の倍数} + (n - 1)$$

と考えることができるからである.

- (5) 3 で割ると 1 余る自然数を整数  $n$  を用いて表せ.

$$3n + 1 \quad (n \geq 0) \quad \dots\text{答え}$$

★等差数列 (*arithmetic sequence*)

*sequence of numbers with common difference*

*arithmetic progression* などとも言い方もある.

隣り合う項の差が一定の数列である.